

SSRだより

尾道市立美木中学校

令和5年 5月23日 NO. 1

SSR（スペシャルサポートルーム）が開設されて2年目を迎えました。

美木中学校のSSRは、学校での集団生活や学習になじみにくいなと感じたときや、心にしんどさを抱えたときの「居場所となるように！」また、安心してありのままの自分を表現できる「居場所となるように！」さらに自分の苦手と強みを知り、強みを生かしながら「成長する場となるように！」をめざして2年目を迎えました。

SSR（スペシャルサポートルーム）は、どんな場所なのか

○SSRでの学習と教室での学習（自分で選択する）

○SSRのみで自習するパターン

- ・わからないところはその教科の先生を呼んで教えてもらいます。
- ・教室の授業のようすをSSRとオンラインでつないで授業を受けることもできます。

○SSRで自習したり、所属学級の授業に参加して授業を受けたりするパターン



SSR（スペシャルサポートルーム）の運営について

1 環境設備

- ① 学校の教室と少し違った雰囲気の教室を目指しています。（卓球台を置いています）
- ② 校内で入室しやすい場所を選定し、動線を確保しています。
（階段から近く、他の教室から離れているので周りの視線を気にすることなく入室できます）
- ③ 個別の学習、協働での学習の両立が可能なレイアウトにしています。
（カーテン・パーテーション利用、机の向き・会議用机を使いレイアウトを工夫しています）

2 個別のサポート計画の作成

生徒・保護者との面談等によって共通理解を図りながらサポート計画を作成していきます。

3 学習支援

- ① 生徒の学習意欲を高める取組
個々の生徒の理解度に応じた学習支援を行い、生徒一人一人が学ぶ楽しさや喜びが実感できるよう学習内容を工夫していきます。
- ② 生徒の自己存在感を高める取組
尾道市内のSSR設置校とオンラインで交流したり、SSR設置校を訪問し、調理実習などで交流を深めたりするなどの活動を行っていきます。
- ③ 教職員がSSR利用生徒と学習支援を行ったり、教職員がSSR利用生徒と会話したりする取組
機会をとらえて先生方にSSRに来てもらい、わからないところを解説するなどの学習支援を行ったり、SSR利用生徒と会話したりするなどして教職員とSSR利用生徒との人間関係づくりを図っていきます。

次に学校全体が温かい雰囲気になり、生徒同士お互いに支え合い、認め合える人間関係をつくっていくピア・サポート活動について紹介します。

今年度、美木中学校では、全クラスで生徒同士が支え合い、認め合い、安心して自己表現ができるようになったり、仲間とつながり合える関係が築けたりするよう、4月にコミュニケーションゲームの要素を取り入れたピア・サポート活動を行いました。



昨年度のピア・サポートトレーニングのようす

また、教職員や親が入り込むことのできないところにも、生徒同士だからこそできる援助があり、悩みや問題を抱えている生徒と同じ視点から聴く力や相手の感情を読み取る力などのスキルを身につけるためのトレーニングを受けた生徒がピア・サポーターとして援助していくピア・サポート活動を美木中学校では、昨年度実施しました。



昨年度のピア・サポートトレーニングのようす

今年度も6月から悩んでいる生徒の力になりたい、目の不自由な人たちのために点字を打つボランティア活動をやってみたいと思った生徒に、① **上手な話の聴き方**

② **問題の解決方法** ③ **上手な断り方**



などを身につけるトレーニングと点字板を使って点字を打つ練習を毎月第1・第3月曜日に合計10回程度（1回20分）行い、仲間の支援者（ピア・サポーター）や目の不自由な人たちのためのボランティアを養成したいと考えています。トレーニングを行うところはSSR（スペシャルサポートルーム）です。（ただしテストや大会1週間前はトレーニングを行いません。）

ピア・サポート活動に興味のある人、悩みを抱えている人の相談に乗りたい、目の不自由な人のために点字を習いたいと思っている人は、ピア・サポートトレーニング受講申込み用紙に保護者に印鑑を押してもらい、署名をしてもらって担任の先生に提出してください。

ピア・サポーターになることをめざして、たくさんの生徒が申込んでくれることを期待しています。